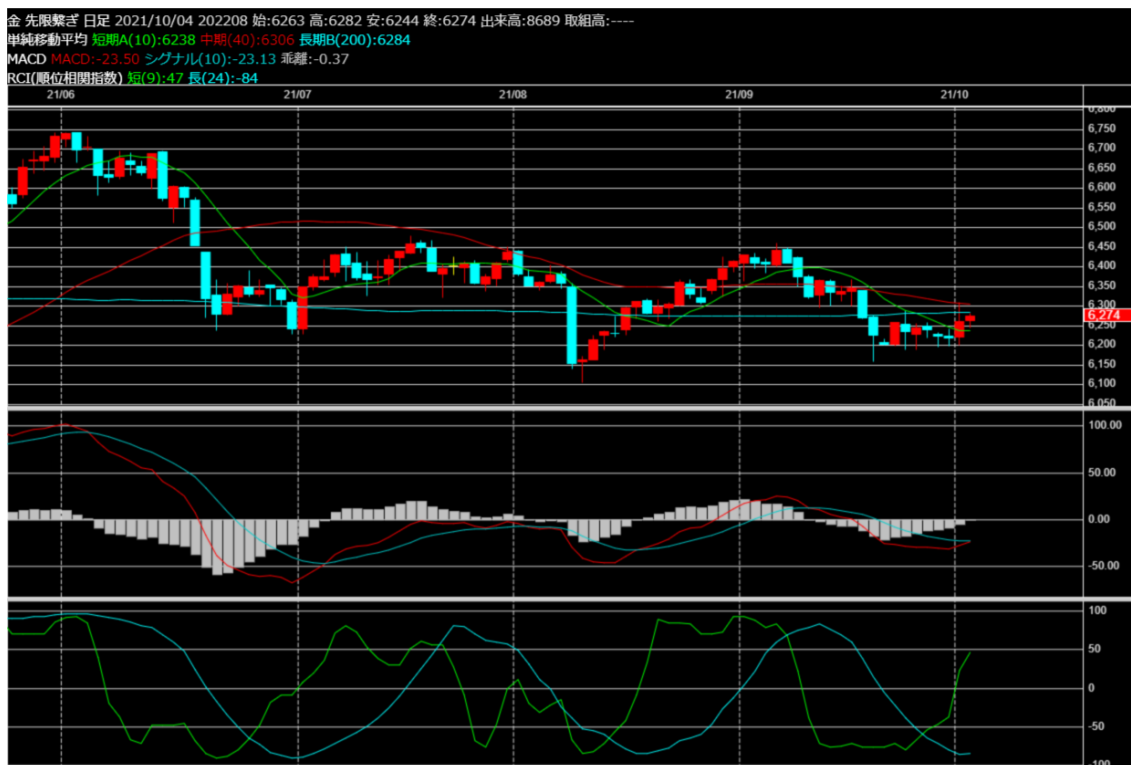


<金標準先物、米中の信用リスクを受け 6350 円へ・・・>



(出所：オアシス)

中国の恒大集団のデフォルト・リスクは、目先特別条項を使った 30 日間のデフォルト認定期間で回避された状態である。また中国人民銀行は、ビットコインなどの仮想通貨は禁止する処置を行っており、ビットコインは急落する動きを見せている。

特に米国では、債務上限問題を抱え米国議会は連邦政府の閉鎖を回避するため 9 週間の暫定予算を可決しているが、債務上限の適用停止を織り込む事が出来ていないため 10 月 28 日には政府のデフォルト（債務不履行）につながりかねない情勢である。

そのため米中のデフォルト・リスクが 10 月 20 日以降は高まりを見せる可能性が高く、また 10 月 8 日の雇用統計も週間新規失業保険申請件数が 3 週間連続で事前予想を上回るなど、雇用統計の統計期間の重なりを考慮すると雇用改善を示す事が難しい状況と思える。

そのため来週の金標準先物はデフォルト・リスクで底堅く、先週の高値 6311 円に向けた戻り基調を強めて来る可能性が高いと予想される。

(2021 年 10 月 3 日記載)

<テクニカル>

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD では **MACD** が切り上げながら下げ渋っている **シグナル** を上回る **強気のクロス** が発生している。また RCI は **短期** が **長期** を上回りながら上昇を続け、**長期** が下げ止まる動きを見せており、オシレーターは **強気** に転じた状態である。そのため 6300 円以下は目先新規買いの域に変化した状態と思える。